

## 6つの視点での評価に係る事務局整理表

資料1-4

番号と評価事項 (※計50項目 番号は中期計画及び年度計画の番号)	R3年度(2021年度)評価								(参考) R2年度		
	大学 自己 評価	6つの視点の評価(案)							大学 自己 評価	6つの 視点	
		顕著	独自	新規	着実	注目	課題	該当 なし			
1 国の高大接続改革に伴う大学入学者選抜改革への対応	A								○	A	
2 留学生サポーター制度の創設 環境共生学研究科における水銀研究留学生受け入れ	A								○	A	新規 着実
3 大学院の入学者確保に向けた取組の推進	B							○		B	課題
4 県立大学独自の「もやいすと育成システム」や 「学生GP制度」を通じた地域の諸課題を題材とする教育の推進	A		○		○	○				A	独自 新規 着実 注目
5 もやいすとグローバル育成プログラムの着実な実施	A				○					A	独自 着実
6 英語を含む外国語教育の改善	A							○		B	
7 学生の英語能力の向上に向けた取組の推進	A				○					A	新規 着実
8 学修成果の可視化と適切な評価に向けた取組み	A				○					A	
9 全学部全学科（環境共生学科食健康環境学専攻を除く）へのキャップ制導入	A								○	A	
10 個人指導や試験対策講義による管理栄養士国家試験 合格率100%の確保	A	○								A	着実
11 中期的な人事計画に基づく教員採用の実施	A								○	A	
12 全学、学部、研究科におけるFDの実施	A				○					A	着実
13 デジタルイノベーション推進センターの設置決定	A		○							A	独自
14 ボランティア活動や課外活動の活性化に向けた課題 への対応	A								○	A	
15 修学支援法施行初年度における授業料減免等の 学生支援の適切な実施	A		○		○					A	着実
16 学生の心身に係る健康支援と修学支援への取組	A								○	A	着実
17 新キャリアデザイン教育課程実施に向けた検討	A								○	A	
18 学生の就業力の育成と県内就職の促進の取組み	A								○	A	
19 各研究科における地域課題に貢献する研究の推進と 成果の発信	A	○		○		○				A	新規 着実 注目
20 科研費への応募率が9年連続で100%達成	A	○								A	顕著
21 研究支援体制の充実・強化	A				○					A	着実
22 研究支援体制や支援策の検証・課題解決に向けた取 組み	A								○	A	
23 学術情報基盤の充実・アーカイブ資料のホームペ ージでの公開	A								○	A	
24 地域おこしスタートアップ事業や被災地域復興・再 生支援事業等を活用した地域貢献の推進	A				○					A	独自 新規 着実 注目

番号と評価事項 (※計50項目 番号は中期計画及び年度計画の番号)	R3年度(2021年度)評価							(参考) R2年度	
	大学 自己 評価	6つの視点の評価(案)						大学 自己 評価	6つの 視点
		顕著	独自	新規	着実	注目	課題		
25	「地域に学び、地域に伝える」を基本理念とする「食育ビジョン」の推進	A			○			A	着実 注目
26	共同研究・受託研究の継続的な実施	S	○		○		○	A	
27	コロナ禍における地域の様々なニーズに応じた学習機会の提供	A		○	○		○	A	
28	海外留学・研修メニュー等の充実	A						B	課題
29	学生の留学支援策（経済支援、危機管理対応等）に係る検討・周知	A			○			A	
30	様々なイベントを通じた学生の国際的視野の涵養への取組み	A						A	
31	留学生受入プログラムの検討・整備	A						A	
32	海外協定校等との研究者交流や共同研究等の実施	A						A	
33	理事長と学長による政策的、効果的な大学運営と新型コロナへの対応	A			○			A	着実
34	地域・研究連携センター、デジタルイノベーション推進センター、持続社会地域共創拠点運営機構の設置	A		○				A	独自
35	計画的なSDの実施	A			○			A	着実
36	個人評価制度等による教員の教育研究活動の評価と改善	A						A	
37	女性教員比率20%以上にに向けた取組の推進	A						A	
38	プロパー職員の人材育成に係る取組の推進	A						A	
39	アクションプランの策定・実行による業務改善や時間外勤務削減の取組み	A						A	着実
40	入学志願者・学生納付金の安定確保と社会状況等に応じた改定の検討	A						A	
41	研究支援体制の充実・強化のため外部資金獲得	S	○					A	着実
42	熊本県立大学未来基金の活用	A						A	
43	経費節減に係る取組の点検・改善と効率的な運送及び経費抑制の実施	A						A	
44	大学の諸活動に係る点検・評価と改善の取組み	A						A	
45	教育研究活動及び新型コロナウイルス感染症対策等に係る積極的な情報発信	A			○			A	着実
46	施設設備の適正な維持管理と計画的な整備改修の実施	A						A	
47	情報セキュリティ対策の強化	A			○			A	
48	新型コロナウイルス感染症に対する事業継続対応も含めた防災・減災対策の強化	A						A	着実
49	教育員の心身の健康相談・健康管理等の取組み	A						A	
50	パワーハラスメントを中心とした意識啓発等の取組み	A						A	

  

R3年度	4	5	3	14	4	2	26
	顕著	独自	新規	着実	注目	課題	該当なし
R2年度	1	5	5	18	4	2	27